

火事を起こさないようにする工夫

第二日比小四年 松田 咲希 さつき

わたしは十月に玉野市消防本部に行つて、防災訓練でけむり体験ハウスを利用して冷せいなひなん行動をすることの大切さを学びました。

例えば部屋にけむりがじゅう満したらまづかがんで、鼻と口をハンカチやぬのでおさえて、かがんだままかべなどを使って出口まで行きます。

次に寒くなつてきたので、ストーブをつける人もふえたと思います。でもストーブの周りに物を置かないようにしましょう。もし、ストーブの周りに物をおいたらもえて、それが部屋中に広がつて大きな火事の原因になることがあります。わたしの家には小さい弟がいるのでストーブの回りにさくをつけています。

最後に火災ほう知器のことです。みなさんの家でも部屋に火災ほう知器をつけていると

思います。火災ほう知器は火事になった時に
早く教えてくれてとても便利です。でも月に
一回ほど音が鳴ることをかくにんしないとい
けません。もししなかったら火事になったと
きに気づけないかもしれません。そして十年
に一回交かんをするようにします。交かん時
期はピーピーと音が鳴って知らせてくれます。
このように、小さなことで火事をふせぐ
ことになるのでいろんなことを考えていきだ
いです。